令和６事業年度

決　算　報　告　書

自：令和６年４月　１日

至：令和７年３月３１日

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学

令和6年度 決算報告書

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学

（単位:百万円）

区　分	予 算 額	決 算 額	差　額 （決算－予算）	備　考
収入				
運営費交付金	5,990	6,074	84	（注1）
施設整備費補助金	161	161	－	
補助金等収入	195	445	250	（注2）
大学改革支援･学位授与機構施設費交付金	22	22	－	
自己収入	650	724	74	
授業料、入学料及び検定料収入	514	505	△ 9	
雑収入	136	219	83	（注3）
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,362	2,133	△ 229	（注4）
目的積立金取崩	666	142	△ 524	（注5）
引当特定資産取崩	－	－	－	
計	10,046	9,701	△ 345	
支出				
業務費	7,306	6,064	△ 1,242	
教育研究経費	7,306	6,064	△ 1,242	（注6）
施設整備費	183	183	－	
補助金等	195	445	250	（注7）
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,362	1,970	△ 392	（注8）
計	10,046	8,662	△ 1,384	
収入－支出	－	1,039	1,039	

〇予算と決算の差異について

（注１）運営費交付金については、予算段階では予定していなかった授業料等免除枠、特殊要因経費（年俸制導入促進費）及び教育・研究基盤維持経費が１８３百万円交付されたこと、また運営費交付金に計上した債務繰越分が予算段階の金額よりも９９百万円少額であったことにより、予算金額に比して決算金額が８４百万円多額となっております。

（注２）補助金等収入については、予算段階の金額よりも受入額が多額であったことにより、予算金額に比して決算金額が２５０百万円多額となっております。

（注３）雑収入については、学術指導収入及びDSCコンソーシアム収入の増加等が要因となり、予算金額に比して決算金額が８３百万円多額となっております。

（注４）産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、主として受託研究等の受入額の減少が要因となり、予算金額に比して決算金額が２２９百万円少額となっております。なお、決算金額については前期からの繰越金２８３百万円を含んでおります。

（注５）目的積立金取崩については、予算段階で予定していた取崩事業の完成時期を繰り越したこと等により、予算金額に比して決算金額が５２４百万円少額となっております。

（注６）教育研究経費については、主として経費の節減により、予算金額に比して決算金額が１，２４２百万円少額となっております。

（注７）（注２）に示した理由により、予算金額に比して決算金額が２５０百万円多額となっております。

（注８）（注４）に示した理由により、予算金額に比して決算金額が３９２百万円少額となっております。